



# やつてみる話

濱林正夫

「やつてみる話」の題は、一見すると、何やら奇妙な感じがする。だが、これは、この時代の、この地方の、この人々の、生活の、苦悶の、叫びの、一つである。...

（以下、本文の抜粋）

「やつてみる話」の題は、一見すると、何やら奇妙な感じがする。だが、これは、この時代の、この地方の、この人々の、生活の、苦悶の、叫びの、一つである。...

## 可弱き春

毛野内幸夫

何がなく泣きだまり出で来る  
花岡公園に寝れる時よ  
目頭があつくなり寝ぬる  
公園の景色ゆら／＼揺れぬ  
泣きぬれし顔をたけて我知らず  
無神論者が「神よ」と言ひき  
人が皆我より儚く見ゆる日は  
空に向かひて歌ふと歌はじ  
死にたしと笑ひて友に言ひてみし  
何を言ふかと友も笑へど  
ちげけ女心の狂き慕はれば  
見上ぐる大空の麗さが悲し  
人の為す己れの爲すその事を  
それこそまへとは凡れ悲しき  
題詞を言はれる事がそれ程に  
健忘すより年のせり忘れ

## 英詩「プロソディ」の序論的意義

船戸 尙

（以下、本文の抜粋）

## キリスト教とマルキシズム

一 階級性と相補性に就いて一

村岸 一彦

（以下、本文の抜粋）

## ホーン大生

早川三代治

（以下、本文の抜粋）

## 幻術と音楽

（以下、本文の抜粋）

## 可弱き春

毛野内幸夫

（以上、詩の全文）

## 英詩「プロソディ」の序論的意義

船戸 尙

（以上、本文の抜粋）

## キリスト教とマルキシズム

一 階級性と相補性に就いて一

村岸 一彦

（以上、本文の抜粋）

## ホーン大生

早川三代治

（以上、本文の抜粋）

## 可弱き春

毛野内幸夫

（以上、詩の全文）

## 英詩「プロソディ」の序論的意義

船戸 尙

（以上、本文の抜粋）

## キリスト教とマルキシズム

一 階級性と相補性に就いて一

村岸 一彦

（以上、本文の抜粋）

## ホーン大生

早川三代治

（以上、本文の抜粋）

## 幻術と音楽

（以下、本文の抜粋）

### ママの想ひ出

八日 10時  
11時  
14時  
18時

主演：山本 弘、山本 悦子、若山 セツ子、若山 良子

監督：石坂洋次郎

### 青い山脈

8時  
11時  
14時  
18時

主演：石坂洋次郎、若山 セツ子、若山 良子

監督：石坂洋次郎

### 三つの真珠

4時  
7時  
10時  
14時  
18時

主演：若山 セツ子、若山 良子、若山 千鶴

監督：若山 良子

### ハリウッド寶船

4日 10時  
11時  
14時  
18時

10日 10時  
11時  
14時  
18時

11日 10時  
11時  
14時  
18時

20日 10時  
11時  
14時  
18時

### 嘆きの女王

近 日  
公 開

主演：山本 悦子、内村 信子、内村 信子

監督：山本 悦子

### 六法全書 24年度版

学生必携の書  
價 400圓 千 40圓

東洋堂

く理の探究といふ崇高なまはかり。上るとクタククになつて、こんどは安心して、「や、作者の心境に依つて通過せよ、詩の底を流  
ットーを掲げなければ、木人つてしまつて、向島に住みなつてみなければ、分らないよられた経験であり、讀者を提、杜甫の所謂「水魚の親しみ  
ぬ。何れにせよ、詩の底を流

一九二一年八月八日夕方六時、まだ日の高い巴里を北岸する経済学は哲学科の中に、併し大学の内部は眞摯に用かける者、テニスに興ず  
車場から伯林行急行列車の寝あつて、この三教授が各一學と秩序を以つて黙然と自ら大なるもの、ライン河にスカルを  
臺車て出立した。翌朝七時少期(半年)づつ交替に、一般學を守護していた。學生たち溜ぐものなぞ、彼等若い男女に吸ひこまれそ  
し過ぎ、ライン河左岸のケルンツェル、特殊経済學、財政學は講入れハニ二片、悪臭の強學生の輝くほどの快活さは流  
ン驛に着くとすぐライン左岸を擔當し、その他、長期にあいマーガリン黒豆コーヒで晝石に、「ボンの學生」の名にニイチエやマルクスがこ  
鐵道に乗りかえ、八時頃に、つて特別講義を行つていた。一九二一年冬學期はドイツエツェル教授の特殊経済學、シュヒ  
Bonnam Rheinと譯名の掲げられた驛に着いた。こしが遊ル教授の特殊経済學、シュヒ  
々目ざして来たボンである。イトホフ教授の財政學、マン  
大西教授が「春は楽しく、秋は淋しいボン」と書いたその一九二二年の夏學期は、ドイツエツェル教授の財政學、シュヒ  
土地である。ドイツエツェル教授ツェル教授の財政學、シュヒ  
に下宿の心配までして頂き、イトホフ教授の一般経済學、  
かつて大学の會計課長を勤めマンステツド教授の工業政策  
たというケハイムラート耳氏の外に、特別講義としてデ  
方に寄宿し、ボンの學生々活ツェル教授の「專制主義から  
か始めることになつた。當時集産主義へや、シュヒート  
のボンは人口十方足らずの都ホフ教授の「景氣變動論」が  
市でフランス軍によつて占領あつた。同年冬學期には、デ  
されていた。舊市街の南側、イツェル教授の一般経済學、  
ライン河の近くにある大學はシュヒートホフ教授の特殊経  
第十八世紀前半にこの地の選渡學、マンステツド教授の財  
學統によつて建てられた舊王政學の講義が行はれた。一九  
城に、ライニツシュ・フリーニ三年春までの三學期をこの  
ドリツヒ、ツイルヘルム大學三人の教授の主要講義の外に  
として一八一八年に設立され、哲學部の色々な講義を聴き、  
たものである。五つの學部、ドイツエツェル教授のセミナー  
即ち、舊教神學部、新教神學部、神學部の色々な講義を聴き、  
部、醫學部、法學部、哲學部、年牛のボンの學生々活は今に  
を持ち、約五千名の學生、所至るまで心の闇にしみ込んで  
謂「ボンの學生」(Bonner 忘れ難い。獨乙敗戦後三年、  
Hursche)を容れし。インフレーション初期、フ  
Heinrich Dietzel, Avlaur ンス軍占領下にあつて、學生  
Spiethoff, Heinrich Mannst の殆んど全部は戦争の体験者

をあきつてゐる。グーチが天に教を乞ふことが出来た。シ  
才にたたとえたラインの奔流 ユムペーター博士は當時銀行  
を眺めてゐるとその流れの底總裁をしてなられたがボンの  
に吸ひこまれそなたな氣持に包 デイツェル教授の下で勉強し  
た。この深い感情の人たる 退後、ボンのドイツエツェル教授  
がどんな心を持つてラインの の講壇はシュムペーター教授  
によつて櫻がれた、こつう ことを思えばボンの一年半は  
決定したとも言えるのである その都市が今や西獨乙憲法制  
定地となり、西獨乙の首府と なつたと聞く。その間に宿の  
老夫妻は逝き、ドイツエツェル 教授は永眠し、シュムペーター  
教授は米因ハーツアド大學へ とボンを去られた。願れば過  
去茫茫として早くも二十六年 が見える  
が過ぎた。併し、獨りライ 河のみは悠々と奔流をみなぎ  
らして日夜を分たず流れつづ けてゐるであらう私は今も時  
々、ボン生れの作家シュミツ ト・ボンの数々の短編小説に  
よつてボンの思ひ出を新たに しているのである。(終)

學都通

ボン大學

早川三代治



・ライン河岸のボン・

學生たちは快活さを決しロイツベルグの陵線に低く秋  
て尖つてはいなかつた。バート雲が流れ、市内に散見する七  
ドヴエンを生んだ町のこと、つが塔に秋日がさし、並木街  
で、人口十方に足らぬ小都市の花壇に大輪の秋菊が咲き亂  
ながら、市立のバートヴエンれる頃、その淋しさはひとり  
ながら、市立のバートヴエン私のような旅人のものだけで  
劇場を持ち、バートヴエン音はない。そこ、この秋の夜の  
樂堂の毎週定期音楽會には教明るい窓からバートヴエンヤ  
授も家族連れて、學生や音楽モーツアルトの樂曲が流れて  
愛好の市民たちと音楽を樂し來る。やがて冬になると、雪  
んでゐる。日曜日になると、は稀であるが河畔の散步道に  
は稀であるが河畔の名所も人影は疎らになり、ライン  
河の鳥が悠々たる流の岸に餌

流れを眺めたことであらうか  
私は一年半をボンで送り、伯  
林大學へ轉學した。伯林大學  
の學生々活は私に「深いもの  
」を與えてくれたかつた。そ  
れはドイツエツェル教授が暇乞に  
行つた私に言はれた通りであ  
つた。その後一九二四年夏、  
ラインでシュムペーター博士

キ  
決定的  
見える  
世界へ  
あり  
主観化  
被等の  
論の立  
いてこ  
であり  
し  
この用  
者はそ  
類似性  
合はね  
のてあ  
革より  
我國